

北海道企業局工業用水道事業経営評価委員会議事要旨

（ 日時：平成26年2月20日（木）14:00～15:30
場所：企業局大会議室 ）

（開催要領）

- 1 開催日時：平成26年2月20日（木）14:00～15:30
- 2 開催場所：北海道企業局大会議室（道庁別館10階）
- 3 出席委員（五十音順）：

委員	安達 陽子	安達中小企業診断士事務所所長
委員	原田 実	(株)北海道二十世紀総合研究所取締役調査研究部長
委員	平池 暁	北海道経済連合会 食クラスターグループ 総括部長
委員長	湊 孝康	NPO法人遺伝子栄養学研究所理事
委員	村上 淳	(株)道友エージェンシー顧問

（次第）

- 1 開会
- 2 議事
 - (1) 工業用水道事業に係る政策評価に伴う事後評価について
・室蘭工業用水道第三期改修事業
 - (2) 平成24年度決算について
 - (3) 平成23年度と平成24年度の決算比較について
 - (4) 石狩湾新港発電所への給水について
- 3 その他 需要開拓の取組状況について
- 4 閉会

【意見等要旨】

（事務局より資料の説明後、委員から次のとおり意見等があった。）

室蘭工業用水道第三期改修事業について

- （将来の計画給水量の算定根拠について）
新規立地見込み水量の年増加率の6%という数字は、実現可能なのか。
- （将来の計画給水量の算定根拠について）
平成22年度に実施したアンケート調査に基づいて、増量見込を算出しているが、厳しいのではないか。
- 現在新日鐵住金(株)の構内には鉄関連の素材・部品関連の工場が進出してきているが、そのような企業向けに改めて、工業用水をアピールしていく必要があるのではないか。
- 配水管の修繕や取り替えに係る腐食調査等については、既存の技術で満足するのではなく、日頃から他県の調査方法を勉強するなどして、最善の方策を講じておく必要がある。